

研究公正を高める取組について

～日独の取組の実践例～

近年、日本の研究機関において、研究活動における不正行為の事案が後を絶たず、昨今、これらの不正行為が社会的に大きく取り上げられる事態となっていることを背景に、2014年、総合科学技術・イノベーション会議においては、「研究不正行為への実効性ある対応に向けて」を、また、文部科学省においては、新たに「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」をとりまとめ、各研究機関における研究倫理教育の徹底等を求めることとした。ドイツにおいても、1997年にドイツ研究振興会(DFG)がとりまとめた“Vorschläge zur Sicherung guter wissenschaftlicher Praxis”について、2013年9月に改訂を行い、若手研究者に対する教育の在り方等について提言を行った。両国においては、このようなガイドライン・提言等をベースとして、研究機関等において研究の公正性の向上に向けた取組が行われている。

今回のシンポジウムは、日独における取組の現状について情報共有を図るとともに、ディスカッションを行うこと等により、両国のResearch Integrity (研究公正) の向上に資すること、一般の方に研究の公正性の向上に向けた取組について理解を深めて頂くこと等を目的とする。

日時

2015年

9月30日(水) (10:00～17:30)

会場

ホテルグランドアーク半蔵門 4階 富士

〒102-0092 東京都千代田区隼町1番1号

定員

200名 無料 (要 事前登録・定員に達し次第受付終了)

申込先

<http://www.jst.go.jp/researchintegrity/symposium150930.html>

【上記お申込みフォーム以外のお申込み先】

日独国際シンポジウム運営事務局(株式会社ディーワークス内)

Tel : 03-5835-0388 (受付 9:30～18:00)

Fax : 03-5835-0296

Email : jst-eeri@d-wks.net

その他

日独同時通訳あり



プログラム

9:30	開場・受付開始
10:00	開会挨拶：ドイツ研究振興協会 (DFG) 主催者挨拶：科学技術振興機構／日本医療研究開発機構 来賓挨拶：文部科学省／在日ドイツ連邦共和国大使館
10:10	
10:20	特別講演：「科学技術イノベーションの基盤としての研究の公正性」 総合科学技術・イノベーション会議 議員 原山優子
11:00	基調講演：「ドイツにおける研究公正の規範の普及に向けた取組」 科学域オンプズマン委員会 代表 Dr. Wolfgang Löwer
11:40	昼休憩
13:00	セッションⅠ：日本とドイツの研究公正への取組 ドイツの取組 ：ドイツ研究振興協会 (DFG) 人事・法務部研究公正課課長 Dr. Kirsten Hüttemann 日本の取組 ：文部科学省／日本学術振興会／科学技術振興機構／日本医療研究開発機構
14:10	休憩
14:20	セッションⅡ：研究の公正性の向上に向けた実践例 ドイツの大学による取組事例紹介 ：ウルム大学小児・思春期科病院院長 Dr. Klaus-Michael Debatin 日本の機関による取組事例紹介 ：東京大学 教授 長棟輝行／早稲田大学 教授 土田友章／産業技術総合研究所 理事 松岡克典
15:40	コーヒーブレイク
16:10	セッションⅢ：パネルセッション 共同座長：日本学術振興会 理事 浅島誠／Dr. Wolfgang Löwer ドイツ側登壇者 ドイツ研究振興協会 (DFG) 副会長 Dr. Frank Allgöwer／Dr. Klaus-Michael Debatin 日本側登壇者 信州大学 特任教授 市川家國／東京工業大学 教授 札野順／講演者
17:30	閉会挨拶：日本学術振興会



原山議員



Dr. Löwer

主催

ドイツ研究振興協会 (DFG)／独立行政法人日本学術振興会
国立研究開発法人科学技術振興機構／国立研究開発法人日本医療研究開発機構

後援：内閣府、文部科学省 (申請中)